

# 八街市環境白書

平成29年版（第26号）



千葉県八街市



平成29年度 環境保全ポスターコンクール 最優秀作品

〈小学校低学年の部〉

八街市立交進小学校 2年 栗原 寧彩  
 (パパがいっしょけんめいそだてたやさしい  
 ゴミをすてないでください。)



平成29年度 環境保全ポスターコンクール 最優秀作品

〈中学校の部〉

八街市立八街南中学校 1年 山田 恋菜  
 (ポイ捨て禁止きれいな世界に)



平成29年度 環境保全ポスターコンクール 最優秀作品

〈小学校高学年の部〉

八街市朝陽小学校 4年 柳光騎

(温暖化STOP)

# は じ め に

平成29年度版「八街市環境白書」をここに発行します。

1990年代以降、地球の温暖化、オゾン層の破壊等の地球環境問題が深刻な問題としてクローズアップされ大量生産・大量消費・大量廃棄を基調とした社会経済活動が一地域の環境問題にとどまらず、地球環境を脅かし将来の世代にも影響を及ぼす事が懸念されました。

さらに、平成23年3月11日に発生しました東日本大震災により、我が国のエネルギーをめぐる情勢は大きな転換期を迎えています。

地球温暖化問題はこうしたエネルギーをめぐる社会情勢の変化と密接に関係している問題であり、より効果的に対応するためにも、エネルギー対策と温暖化対策を包摂する具体的な事業が必要となっています。

八街市では、昼間の電力需要のピークの緩和、地域における再生可能エネルギーの導入促進等を図るために、住宅用太陽光発電システムを設置したご家庭には補助金を交付しております。

本書は平成28年度の八街市における環境状況や保全に関する施策について、概要を取りまとめたものです。

最後に本書が市民の皆様に広く活用され、環境に関する理解を深め、これからの環境保全に向けての行動を展開していくための一助となることを願っております。

平成30年3月

八 街 市 長 北 村 新 司

# 目 次

## 第1章 八街市の概要

1	位 置	.....	1
2	自 然	.....	2
3	人 口	.....	3
4	産 業	.....	4
5	土地利用	.....	4

## 第2章 環境行政の概要

1	機 構	.....	6
2	予 算	.....	7
3	環境審議会	.....	7
4	広域的環境保全組織等	.....	8

## 第3章 大気汚染

1	大気汚染の現状	.....	10
2	大気汚染の対策	.....	11

## 第4章 水質汚濁

1	水質汚濁の現状	.....	12
2	公共用水域の現状	.....	13
3	水質汚濁の対策	.....	22

## 第5章 騒音・振動

1	騒音・振動の現状	.....	27
2	騒音・振動の対策	.....	32

## 第6章 地盤沈下

1	地盤沈下の現状	.....	38
2	地盤沈下の対策	.....	43

<b>第7章 悪 臭</b>		
1 悪臭の現状	.....	45
2 悪臭の対策	.....	45
<b>第8章 廃 棄 物</b>		
1 ごみ処理の現状	.....	51
2 ごみ処理の対策	.....	55
3 し尿の現状	.....	59
4 し尿の対策	.....	64
5 産業廃棄物の現状と対策	.....	67
<b>第9章 環境衛生</b>		
1 衛生害虫駆除	.....	70
2 食品衛生	.....	70
3 動物愛護	.....	71
<b>第10章 緑地保全</b>		
1 緑地保全の現状	.....	72
2 緑化の推進	.....	73
<b>資 料 編</b>		
1 八街市環境保全条例概要	.....	74
2 八街市土地の埋立て等及び土砂等の規制に関する条例	...	76
3 環境行政のあゆみ	.....	77
4 用 語 集	.....	80

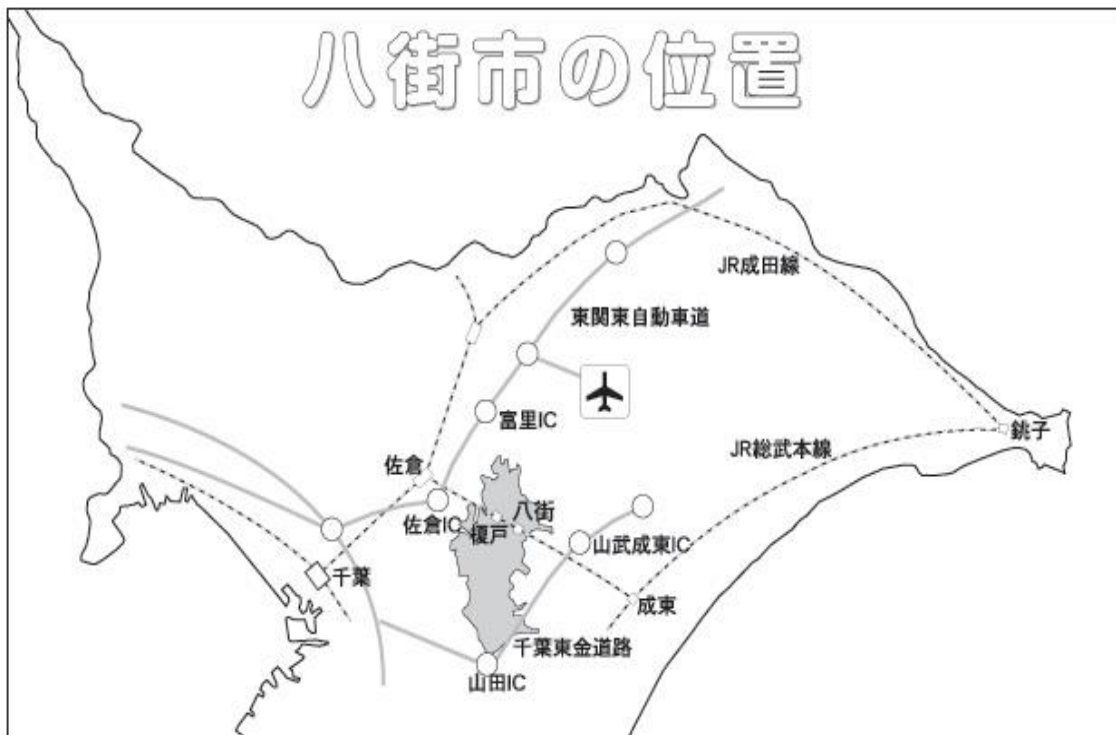
# 第1章 八街市の概要

## 1 位置

千葉県北部のほぼ中央に位置し、東京から50km圏内にあり、京葉工業地帯から20km、成田国際空港から10kmの位置にあります。東は山武市に接し、南は東金市、千葉市に接し、西は佐倉市、北は酒々井町、富里市に接しています。

広ぼうは、東西に狭く約7.7km、南北に長く約16km、面積は74.94km<sup>2</sup>です。市中央は市街地をなして、周囲に平坦な畑作地帯が広がり、南西部および北部に水田地帯が点在しています。

図1-1 八街市の位置



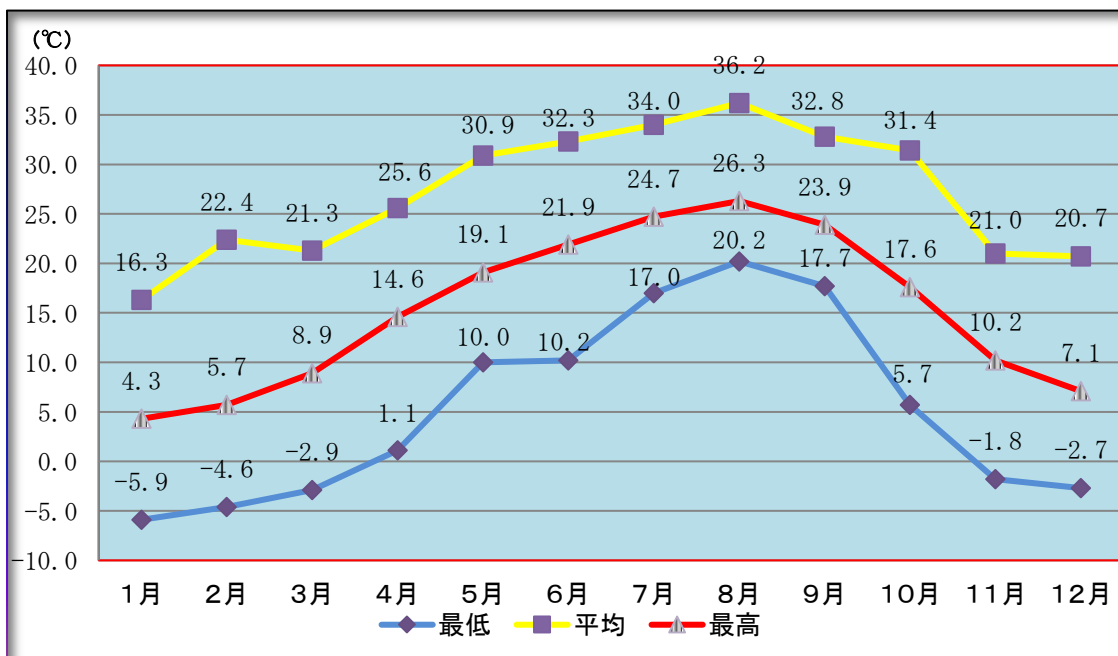
## 2 自然

八街市の地形は、緩やかな起伏のある台地状であり、市境の各方面から数本の深い谷津が入り込んでいます。全体にやや北へ傾斜しており、水系は印旛沼水域に含まれますが、分水界により東方向へ流出する部分もあります。

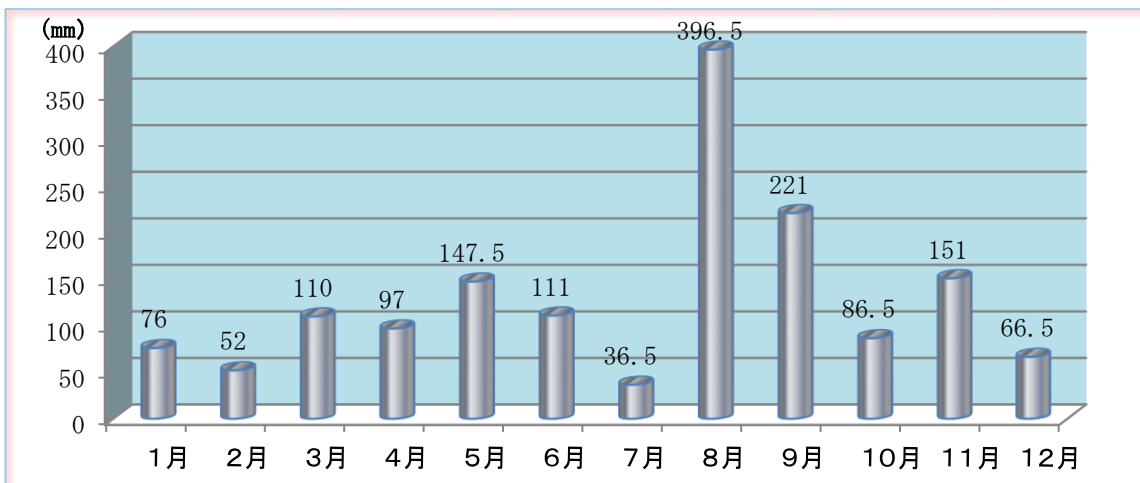
地質は、第4紀古層から形成され、上部は厚い関東ローム層で覆われています。田・畑地が全土の約5割を占め、これを取り巻く防風林などの林地が約2割、その他の約3割が市街地です。

気象は、おおむね年平均気温15.4℃、最高気温36.2℃、最低気温-5.9℃、年間を通じて温暖な気候です。降水量は、年間1,551.5mm程度です。

図1-2 月別気温及び降水量(平成28年1月～12月)



資料:佐倉地域気象観測所



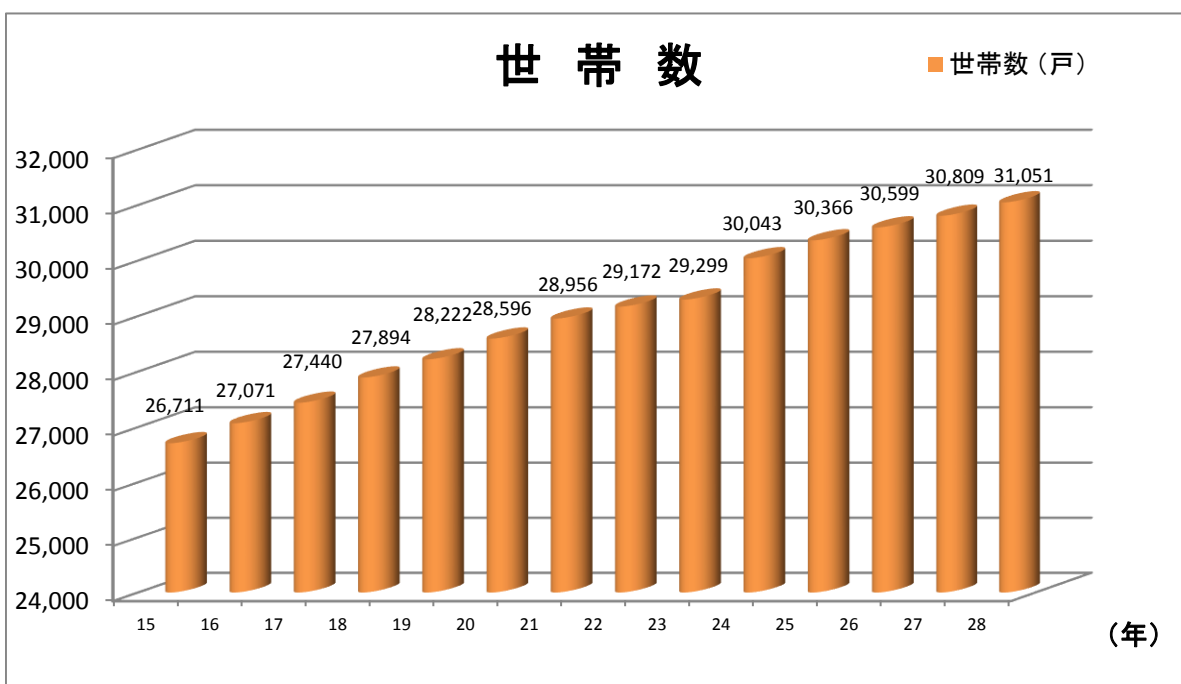
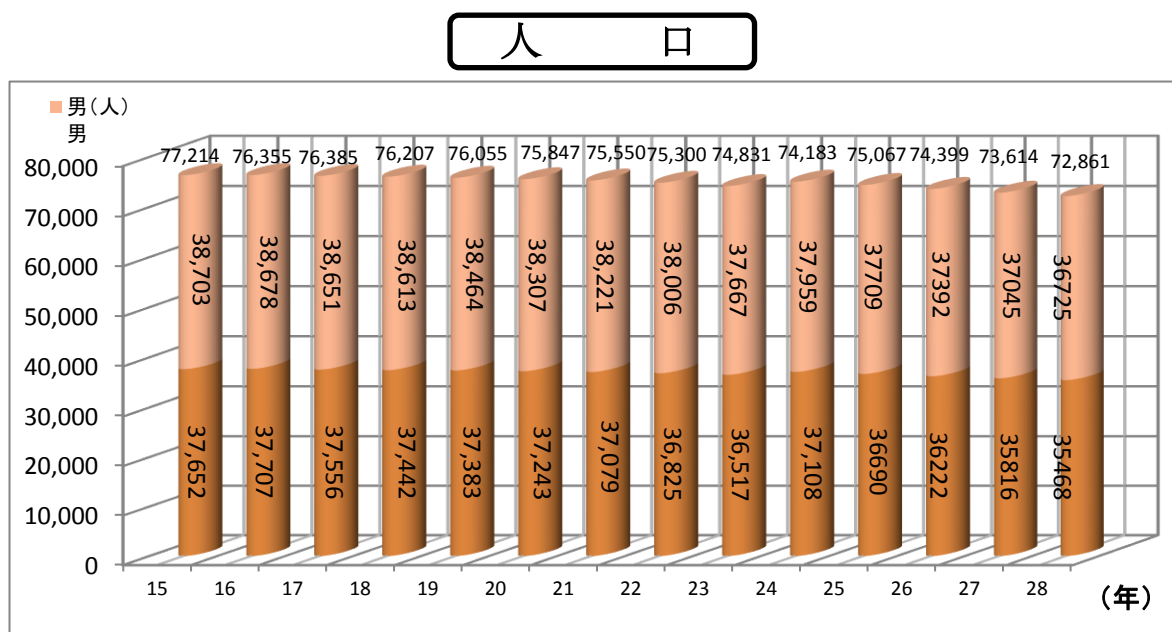
資料:佐倉地域気象観測所

### 3 人 口

昭和29年11月1日、旧八街町と川上村が合併して、八街町となりました。昭和40年以降、人口は増加を続け、平成2年9月21日に5万人を突破、平成4年4月1日、八街市が誕生しました。人口の分布は、市の中心部に集中しています。

※平成24年7月9日に外国人登録法が廃止され、外国人も住民基本台帳の対象となっている。

図1-3 住民基本台帳人口(各年10月1日現在)



世 帯 数



## 4 産 業

### (1) 農 業

市の基幹産業は、農業です。八街市は、首都近郊に位置し、北総台地の優良な農地に恵まれた、関東有数の畑作地帯であるとともに、露地野菜や施設野菜等を中心とした畑作経営地帯としての作目は多様性に富み、農業産出額は県内で上位に位置し、主に首都圏への食料供給基地としての役割を担っています。

しかしながら、この農業生産を担っている農業構造を見ますと、都市化の発展及び農業経営環境の厳しさとあいまった専業農家の兼業化や農業後継者不足、高齢化、農地の耕作放棄化といった問題が顕在化しています。

今後も都市化や農業経営環境の厳しさから農業構造の変化が予測され、農業的土地利用の低下や悪化に対応した土地利用、農業の後継者育成及び新規就農の増加等の経営体育成強化が必要となっています。

### (2) 商 業

八街市の商店は、その大半が市街地に位置し、八街駅を中心として、放射状に伸びた道路沿いに商店街を形成しています。

市の商業は、農作物の集積地として発展し、現在でも、主要作物の加工・販売業者が多いという特徴を残しています。しかし、昨今では、近隣市町の商圈拡大及び大店立地法の規制緩和に伴って、市街地郊外に大型店舗が進出してきました。こうした動向に対処するため、中心市街地における商店街の活性化が必要となってきています。

### (3) 工 業

従来は、地場産業である落花生などの農産物加工工場を主体として、木材・木製品製造、縫製業などが中心でしたが、近年では、金属製品、一般機械製造などの工場も増加しています。

今後も、農業や自然環境との調和を図りつつ、工業の近代化を推進していくことが必要とされます。

## 5 土 地 利 用

現在、八街市の土地利用状況は、田畑が約5割を占め、山林その他がこれに次ぐという農業中心の土地利用形態になっています。しかし、田畑は減少し、これに代わって宅地が増加しており、住宅地としての土地利用が増えています。

八街市では、農業振興地域の整備に関する法律に基づき、昭和49年に指定された農用地区域、また、都市計画決定により指定された用途地域を軸に計画的な土地利用の改善に努めてきました。現在は、駅前地域の商業の活性化、幹線道路網の整備、宅地造成などを中心に、自然と産業の調和を進めています。

昭和50年の都市計画施行からの宅地造成面積は約297haにのびます。

これらの開発は、都市計画用途地域外で行われたものが主なものであり、また、これらの開発は、農業用水路の汚染、自然水路の破壊など様々な弊害を引き起こしていましたが、現在では、調整池により雨水の抑制、浄化槽による汚染処理を指導しています。今後は、用途地域内に宅地造成を誘導することが課題となっています。

表1-1 八街市の土地利用状況(平成29年4月1日現在)

区 分		面 積(ha)	割 合(%)	
			各合計に 対する割合	
行 政 区 域		7,487	—	100.0
都 市 計 画 区 域		7,487	—	100.0
用 途 地 域	第 1 種 低 層 住 居 専 用 地 域	41	6.9	—
	第 2 種 低 層 住 居 専 用 地 域	0.7	0.1	—
	第 1 種 中 高 層 住 居 専 用 地 域	50	8.4	—
	第 2 種 中 高 層 住 居 専 用 地 域	193	32.5	—
	第 1 種 住 居 地 域	230	38.7	—
	第 2 種 住 居 地 域	47	7.9	—
	近 隣 商 業 地 域	9.4	1.6	—
	商 業 地 域	18	3.0	—
	準 工 業 地 域	5	0.9	—
	合 計		594	100.0
用 途 地 域 外		6,893	—	92.1
農 業 振 興 地 域		6,893	—	92.1
農 用 地 区 域	田	154	7.1	—
	畑	2,001	92.1	—
	樹 園 地	—	—	—
	農 用 施 設 用 地	18	0.8	—
	合 計	2,173	100.0	29.1
農 用 地 区 域 外		4,720	—	63.0

# 1 機構

